

みずほCustomer Desk Report 2025/06/27号(As of 2025/06/26)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	144.81
TKY 9:00AM	144.90	1.1684	169.21	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	145.24	1.1745	169.39	1.3692	0.6522
SYD-NY Low	143.76	1.1654	168.60	1.3770	0.6564
NY 5:00 PM	144.40	1.1702	168.90	1.3661	0.6508
				1.3726	0.6547
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	43,386.84	404.41	日本2年債	0.7200%	0.0000%
NASDAQ	20,167.91	194.36	日本10年債	1.4100%	0.0200%
S&P	6,141.02	48.86	米国2年債	3.7183%	▲0.0614%
日経平均	39,584.58	642.51	米国5年債	3.7954%	▲0.0522%
TOPIX	2,804.69	22.45	米国10年債	4.2446%	▲0.0450%
シゴ日経先物	39,835.00	805.00	独10年債	2.5640%	0.0025%
ロンドンFT	8,735.60	16.85	英10年債	4.4700%	▲0.0070%
DAX	23,649.30	150.97	豪10年債	4.1210%	▲0.0010%
ハンセン指数	24,325.40	▲149.27	USDJPY 1M Vol	10.15%	0.30%
上海総合	3,448.45	▲7.52	USDJPY 3M Vol	10.59%	0.32%
NY金	3,348.00	4.90	USDJPY 6M Vol	10.41%	0.18%
WTI	65.24	0.32	USDJPY 1M 25RR	▲1.47%	Yen Call Over
CRB指数	298.22	1.60	EURJPY 3M Vol	8.72%	0.04%
ドルインデックス	97.15	▲0.53	EURJPY 6M Vol	9.11%	0.05%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月26日	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	5月 -0.3%	0.2%
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	1Q T -0.5%	-0.2%
	21:30	米 GDP価格指数	1Q T 3.8%	3.7%
	21:30	米 個人消費	1Q T 0.5%	1.2%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	5月 16.4%	8.5%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	21-Jun 236k	243k
	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	5月 1.8%	0.1%

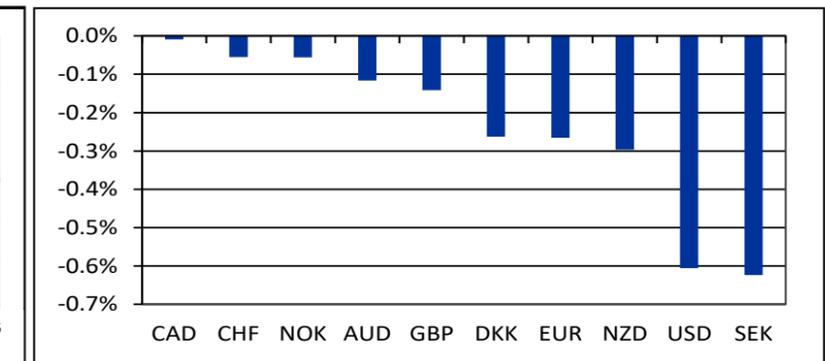
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月27日	08:30	日 失業率	5月 2.5%	2.5%
	08:30	日 東京CPI/コアCPI/コアコアCPI	6月 3.3%/3.3%/3.3%	3.4%/3.6%/3.3%
	15:45	仏 CPI(前月比/前年比)・速報	6月 0.1%/0.8%	-0.1%/0.7%
	18:00	欧 消費者信頼感・確報	6月 -15.3	-15.3
	20:30	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-
	21:30	米 PCE価格指数(前月比/前年比)	5月 0.1%/2.3%	0.1%/2.1%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	6月 60.5	60.5

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	143.50-145.00	1.1580-1.1780	168.00-170.00

【マーケット・インプレッション】

本日のドル円は軟調な推移を予想する。足許ではトランプ米大統領による次期FRB議長の早期指名観測等を受けて、短期ゾーンを中心に米金利に低下圧力が加わる中、引き続きドル売り優勢の展開が続くと思われる。一方で、昨日には複数のFRB高官から次回会合での利下げには慎重な見方が示されたことや、ドル円については144.00付近では買い戻しの動きが見られることから下落幅は限定的か。もっとも米国時間には米5月PCEを控えており、今月発表済みのCPIやPPIの結果を踏まえると弱含む公算が高いとみられ、予想を下振れた場合はドル売りが一段と加速するだろう。

東京	早朝の「トランプ米大統領が次期FRB議長の早期指名を検討」との報道を受けたドル売りに、145円台前半から値を下げ、東京時間のドル円は144.90レベルでオープン。しばらくは144円台後半で方向感なく推移も、東京時間終盤にきっかけは不明も、売り圧力が強まる中、144円台前半まで下落。一服後にやや値を戻すも上値は重く、144.62レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、144.62レベルでオープン。トランプ米大統領がFRB議長の早期後任指名について言及したことによってドル売り優勢となり143.76まで下落する。その後米債券利回りの下落が止まったところでドル円も反発し、結局144.38レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は米第1四半期GDP(改定値)が下方修正された事が嫌気され、ドル売り地合いから144円台前半で上値重い推移が続く。午後は新規材料が乏しい中、144.20付近を挟んだ方向感乏しい推移が続き、その後144.40レベルでクローズ。一方、ユーロは独金利の上昇や、先述の下方修正された米GDPの結果を受け底堅く推移し、1.1740まで上昇。その後はドル売り一巡となり、徐々に1.17台ちょうど付近まで反落し、結局1.1702レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。